

街づくりを通じた社会課題の解決

三井不動産グループは、街づくりを通して
さまざまな社会課題を解決し、新しい価値を創造してまいりました。
その一例をご紹介します。

Case 1 霞が関ビルディング

「高度経済成長期における 新たな都市空間」の創造

都市空間の高度利用の先駆けとして、日本初の超高層ビルの建築により、
都心における土地の有効活用と、空地・緑地の創出等による
地域貢献の両立を実現しました。



Case 2 サンシティ

「多世代にわたる コミュニティ創出」への取り組み

居住者・地域住民の良好なコミュニティを新たな資産価値と捉え、
マンション敷地内に「森」を設けることにより、
「森」を通じた多世代にわたるコミュニティ形成を実現しました。



Case 3 大川端リバーシティ21

「都心ウォーターフロント 開発を通じた地域活性化」への挑戦

定住人口の減少が進んでいた都心湾岸部において、古い工場・倉庫等を住宅として再開発することにより、都市防災機能の向上と、新たな居住空間の提供を通じた湾岸部における人口増加を実現しました。



Before



After

Case 4 ららぽーと

「豊かで充実した時間を 過ごせる空間」の創出

成熟した消費社会において、商業施設を「賑わい・食・遊ぶ・集いの場」として提供することで、訪れた人々が豊かで充実した「時間」を過ごすことのできる「空間」を創出しました。



Case 5 不動産証券化

「健全で開かれた 新しい不動産市場による 都市再生」の推進

不動産投資信託市場の創設により、「不動産」と「金融」が融合し流動性が付与されたことで、バブル崩壊後停滞していた不動産市場の活性化、ひいては開発型プロジェクトの増加による都市再生の推進を実現しました。



Case 6 東京ミッドタウン

「東京の国際都市としての 競争力強化」の実現

働・遊・憩・住を高度に融合させたこれまでにないミクストユース型の街づくりにより、旧防衛庁跡地の当社フラッグシップへの昇華と、多様な企業の集積や来街者の増加等を通じた都市の競争力向上を実現しました。

Before

